

議会だより しらおか Shiraoka



P 2 令和2年度 一般会計予算

P 4 令和2年度 特別会計・企業会計予算

P 6 条例改正・令和元年度 補正予算

P 7 審議結果

P 8 一般質問

P 17 令和2年度 組合予算

P 18 委員会活動報告

第6回
白岡市観光写真コンテスト
市長賞
夕焼けに染まるこどもの日
丹野 香苗さん 撮影

No.207

2020. 5. 1

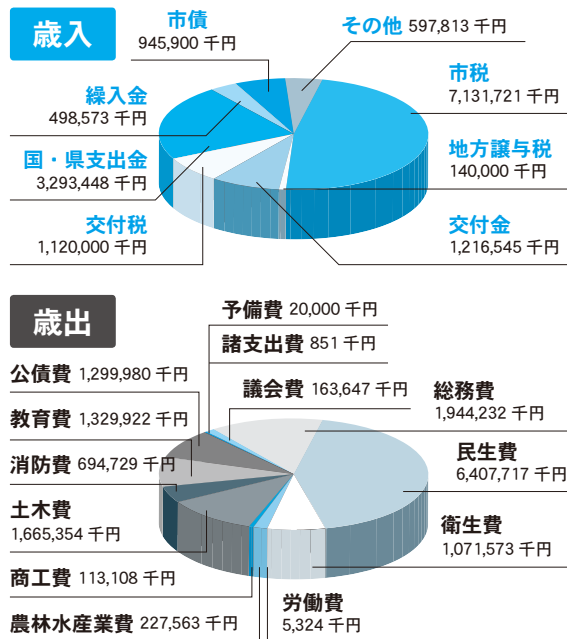
白岡市のホームページでも議会の情報が見られます。<http://www.city.shiraoka.lg.jp/gikai/>
誌面に掲載しきれなかった記事をホームページで公開しています。



《3月定例会》

2月20日から3月17日までの27日間にわたり定例議会が開かれ、市長提出議案26件を審議し、原案のとおり可決等しました。

一般会計予算 149億4400万円
前年度比 + 8億1400万円



街づくり課

問 新土地利用検討事業は、血沼周辺区域や篠津北東部区域などの課題を整理し、将来の土地利用方針などを検討するとの説明があったが、篠津北東部区域は都市的土地利用を図っていくのか。篠津北東部区域については、農政部局に土地利用方法の確認をすると、適正な農地利用を図っていただく等の回答となる。そのため、市としての方針にズレが生じていることから、一貫性がある方針を確立していく必要があると思うがいかがか。

答 篠津北東部区域は、市街化調整区域であり、かつ、農振農用地となっており、開発は厳しく制限されていることから、必ずしも都市的土地利用を推進するものではない。市としては、個別の開発はご遠慮いただきたいと考えている。開発を計画する場合は、一体開発が望ましいが、篠津北東部区域は、市街化調整区域、かつ、農振農用地となっており厳しい制限がかかっているため開発は難しい。

「住んでみたい」 令和2年度 一般会計予算 令和2年

- ★まちなにぎわい創出プロジェクト
白岡中学校周辺区域の都市的土地利用の促進
- ★地域活性化プロジェクト(大山・菁莪地域)
- ★白岡こども・ゆめ・みらいプロジェクト
- ★第6次白岡市総合振興計画策定事業

教育指導課

問 小規模特認校活性化推進事業について、教育委員会では「市内の学校には複式学級を設けない」という方針があるのか。

答 教職員の負担軽減等を考慮すると、大山小学校に限らず、全ての学校において、複式学級は解消すべきものと考えている。

しかしながら、教員配置の経費を市の予算で賄うことは負担が大きいいため、より良い方策を検討していく。

安心安全課

問 地域防災計画改訂事業の具体的なスケジュールは。また、791万円の予算のうち、756万円が委託料であるが、職員はどのように携わるのか。

答 県計画の改訂が春から夏頃に完成予定となっているため、その状況を踏まえて市の改訂を行っていく予定である。

また、防災会議の支援、計画の取りまとめ、製本などを事業者へ委託する。職員は、県計画との整合性を踏まえた計画全体の確認、防災会議の運営などを実施していく。



税務課

問 徴収率が向上して表彰を受けたようだが、その要因は。

答 滞納状況の整理を行い、収入未済を圧縮したことで、徴収率が向上した。

「住み続けたい」 まちを目指した分野に重点!!

度の目玉事業は

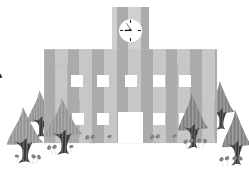


- ①都市計画道路白岡宮代線及び白岡駅西口線の整備の推進
- ②民間保育所整備の推進、幼児教育・保育無償化、こども医療費支給による切れ目のない支援の強化
- ③防災用マンホールトイレの整備、防犯灯や路面標示など交通安全施設の設置
- ④子どもたちが学びやすい学校環境の整備ほか、文化・教育環境の充実

総括質疑

問 物件費のうち、全公共施設などの電気料金は。また、LED化の推進状況は。

答 2年度の一般会計当初予算に係る電気料は、1億4622万2千円であり、元年度と比較すると561万3千円増加している。主要部分がLED化しているのは、本庁舎、生涯学習センター〔こもれびの森〕、南小学校であり、その他の施設については、一部対応済や未対応など様々である。LEDは消費電力を抑制することにより電気料を抑えることが期待できるが、導入費用等の課題があるため、全ての公共施設のLED化は進んでいない。今後は、導入費用を考慮しつつ、施設の改修等のタイミングに合わせるなど、導入時期を見計らいながら、LED化を進めてまいりたい。



問 埼玉東部消防組合における当市の負担について、今後の見通しは。

答 元年度、消防組合負担金における構成市町の負担方法について、消防局及び構成市町の関係課を構成員とする負担金検討委員会が設置され、これまでに3回の会議が開催されている。今後の負担方法の見直しについては、この検討委員会において協議が行われている段階のため、5年度以降の負担金の見通しについては、現時点では明確に申し上げることはできないが、増額となることが想定される。

問 第6次総合振興計画策定事業の予算652万5千円のうち600万円が委託料である。業者に丸投げではないか。「体制・進め方・業者の作業について」伺う。

答 委託料は、人口推計、現状分析、課題整理、第5次総合振興計画の検証、市民意識調査など、計画策定に当たっての基礎的業務を実施する費用である。市民意識調査などの情報の集計や分析などを行うもので、経験と専門知識を有する民間事業者に委託し、市職員の策定作業を補完・支援するものである。

予算案全般に対し

反対討論



国の財政政策により臨時財政対策債が膨らみ、財政を圧迫しています。消費税の引き上げ問題なども併せて、国に是正を求めるべきです。

また、原発に頼らないエネルギー政策を市としても進めるべきです。このような不十分な内容を指摘し反対します。

賛成討論

新型コロナウイルス禍により経済の先行きが不透明な中であって、可能な限りの財政健全化に向けて努力し、将来志向・安心志向の公共投資を行い、子育て世代を元気づけることによる消費喚起を促していることを高く評価し、当初予算案に賛成します。

第19号 国民健康保険

反対討論

この制度は他の健康保険制度に比べて掛金が高く、1兆円の国からの財政投入が、広範な国民から要望されています。また、利用者の負担軽減を図るために市の繰入金必要性も叫ばれていますが、予算は住民の要望に応えるものとはなっていません。

賛成討論

本予算は、歳出において被保険者の健康の保持・増進を図るための事業などが計上されています。一方、歳入では国民健康保険を運営していくため必要な費用を確保しており、安定的な国民健康保険事業運営を十分に考慮し編成された予算と認め、賛成します。

第20号 後期高齢者医療

問 保険料の歳入にある特別徴収と普通徴収の違いは何か。

答 後期高齢者医療保険料の場合、特別徴収は年金から天引きで保険料を納めていただく方法で、普通徴収は納付書で保険料を納めていただく方法である。



反対討論

2年度の埼玉県後期高齢者医療広域連合の予算では所得割が0.1ポイント引上げられ、1人当たりの平均保険料は2,516円引上げになっています。さらに、窓口負担の1割から2割引き上げの議論も進んでおり、このような内容は賛成出来ません。

賛成討論

福祉制度全般について、白岡市規模の地方自治体は国の制度に従う以外の選択肢はありません。制度の審議などを直接聴くべきです。健康やヒトの死など深い議論が必要です。

本予算は適正に見積りがなされており、私は本案に賛成の意を表するものです。

第21号 介護保険

問 生活支援体制整備事業費の減額理由は。

答 元年9月まで臨時職員を生活支援コーディネーターとして任用していた。10月から育児休暇代替職員が業務を行っている。元年度の予算は1年間分の臨時職員賃金を計上していたが、育児休暇代替職員の任用期間が2年度途中までになるため、2年度は半年分の賃金を計上しているため減額となっている。

問 生活支援コーディネーターが半年で業務を終わってしまった事業として大丈夫なのか。

答 2年度の体制として、常勤職員を充てること等を検討する。

会計		総額		主なもの	
第19号	国民健康保険	歳入・歳出	46億1286万4千円	歳入	国民健康保険税、県支出金、繰入金
		対前年度比	△3.5%	歳出	保険給付費、国民健康保険事業費納付金、保健事業費
第20号	後期高齢者医療	歳入・歳出	7億242万7千円	歳入	後期高齢者医療保険料、繰入金
		対前年度比	6.2%	歳出	総務費、後期高齢者医療広域連合納付金、保健事業費
第21号	介護保険	歳入・歳出	32億4913万2千円	歳入	保険料、国庫支出金、支払基金交付金
		対前年度比	6.0%	歳出	総務費、保険給付費、地域支援事業費
第22号	野牛・高岩 土地区画整理	歳入・歳出	325万5千円	歳入	清算金
		対前年度比	△19.0%	歳出	総務費、清算金
第23号	白岡駅東部中央 土地区画整理	歳入・歳出	2億6337万1千円	歳入	国庫支出金、繰入金
		対前年度比	7.8%	歳出	総務費、事業費

反対討論

介護保険をめぐる検討は軽度の支援者を制度から外す方向で進められています。そのため平成30年8月から、合計所得金額が220万円以上の方は3割負担となりました。これは、要支援者、要介護者の利用抑制につながります。この制度改悪に反対します。

賛成討論

本予算案は、介護保険制度の円滑な運用のために必要な額が計上されており、高齢者が安心して暮らせるよう、適正に編成されていると認められるため、本案に賛成の意をあらわすものであります。

第22号 野牛・高岩土地区画整理

問 特別保留地の売買を分割にした理由はどのようなものか。

答 金額が大きいため、土地所有者の利便性を考慮し、認めているものである。

第23号 白岡駅東部中央土地区画整理

問 物件等補償事業の詳細は。

答 物件等補償事業の実施予定は、元年度の繰越明許分として建物2件、工作物2件を予定している。2年度予算では建物2件、工作物2件、借家人補償1件を予定している。

令和2年度 企業会計予算

第24号 水道事業

問 収益的支出の予備費の説明に湧水に備えてとあるが、水不足による湧水対策は何か。

答 荒川水系、利根川水系の取水制限により、県水受水量の制限が想定されるため、自己水源からの取水を増量し対応することとなる。

第25号 公共下水道事業

問 雨水管渠改良費の白岡第一ノ二号幹線の工事実施範囲は。

答 千駄野地内の土地区画整理事業区域境から東北自動車道までの区間について、2年度から3か年かけ工事を実施する予定である。

反対討論

2年度予算から公共下水道会計に企業会計が適用されることになりました。また、宮山団地に続き白岡中学校など市庁舎周辺の公共用地に編入も予定されています。しかし、宅地の面積を基準に受益者負担金を賦課するのは不当な取扱いです。

賛成討論

本事業は、下水道の整備と公衆衛生の向上に寄与するものです。災害対策の推進や下水道施設を安定的に運営する事業を展開し、収入では、適正な使用料や国庫補助金・企業債などの財源を確保し、適切な下水道事業推進の予算であり、賛成します。

第26号 農業集落排水事業

問 農業集落排水の使用料は公共下水道の使用料と同額か。

答 農業集落排水の使用料は一か月当たり基本料2千円と人数割3百円となっている。公共下水道は使用水量に基づく使用料となっている。公共下水道より農業集落排水の方が高い水準となっている。

会計		収入総額		支出総額	
第24号	水道事業	収益的	11億 3899万 円	10億 1632万 2千円	
		資本的	4505万 8千円	4億 2020万 8千円	
第25号	公共下水道事業	収益的	9億 9717万 3千円	9億 7277万 1千円	
		資本的	6億 1387万 2千円	8億 7654万 円	
第26号	農業集落排水事業	収益的	1億 1303万 2千円	1億 1266万 1千円	
		資本的	878万 3千円	3575万 7千円	

条 例 改 正

第 4 号 監査委員条例の改正

例月出納検査の例日を毎月10日から24日に変更するとともに、地方自治法の改正に伴う条文番号の変更を行うものです。

問 実情に整合させるという提案趣旨からすると、現状は24日に実施しているのか。

答 月末に帳簿を締めた上で調整を行うことから10日に行うのは難しく、概ね月末に実施している。

問 例日の規定は条例事項ではないので、規定自体を削除するほうが良いのではないか。

答 地方自治法の行政実例により、条例で定めるのが適当との解釈が示されている。

問 これまでに現金・物品等の亡失・損傷の事例はあるか。

答 把握している限りでは、そのような事例はない。

問 今般の地方自治法の改正に基づく首長の損害賠償責任制限条例は制定するのか。

答 近隣自治体の状況を見ながら判断する。

第 7 号 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正

児童福祉法の改正に伴い、放課後児童クラブの支援員をより多く確保し、放課後児童クラブの安定した運営と質の向上を図るため、「み

なし支援員」に係る経過措置期間について、現行の規定を5年間延長し、7年3月31日までとするものです。

問 現在の支援員のうち、「みなし支援員」の状況はどうか。また、現在の「みなし支援員」はいつ支援員になれるのか。

答 支援員56人中、支援員資格研修済みの者が42人、研修未受講の「みなし支援員」が14人である。現在の「みなし支援員」が研修を終了し、正式な支援員になるのは、2年後の予定である。



第 9 号 手数料条例の一部改正

低炭素建築物新築等計画の認定基準に関する告示等の一部改正に伴い、手数料を新たに定めるものです。

問 評価に当たってばらつきはあるのか。

答 評価結果は、建物ごとにばらつきはあるが、認定の基準は一定である。

問 今までの評価と比べてどのくらい簡素化されたのか。

答 評価項目の具体的な数については把握していないが、従来、計算ソフトを使用して計算していたものが電卓で計算できるようなイメージである。

令和元年度一般会計・特別会計補正予算

会計		補正前予算額	補正額	補正後予算額
第12号	一般（第6号）	147億9303万3千円	3270万9千円	148億2574万2千円
第13号	国民健康保険（第3号）	52億1611万2千円	3910万8千円	52億5522万円
第14号	後期高齢者医療（第2号）	6億6638万2千円	△1729万7千円	6億4908万5千円
第15号	介護保険（第4号）	34億1072万1千円	△783万3千円	34億288万8千円
第16号	野牛・高岩土地地区画整理（第2号）	637万円	△56万3千円	580万7千円
第17号	白岡駅東部中央土地地区画整理（第3号）	2億4420万5千円	4146万3千円	2億8566万8千円

《3月定例議会の審議結果》

(○：賛成 ×：反対 欠：欠席 ー：採決なし)

議案 番号	議席番号・議員名 件名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	議決 結果				
			中 村 匡 志	野 々 口 眞 由 美	齋 藤 信 治	山 崎 巨 裕	関 口 昌 男	松 本 栄 一	中 山 廣 子	菱 沼 あ ゆ 美	渡 辺 聡 一 郎	加 藤 一 生	中 川 幸 廣	藤 井 栄 一 郎	細 井 公	大 島 勉	遠 藤 誠	石 原 富 子	江 原 浩 之	井 上 日 出 巳 ※					
1	公平委員会委員の選任		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	同 意			
2	職員のサービスの宣誓に関する条例及び市立学校県費負担教職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決		
3	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決		
4	監査委員条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決		
5	固定資産評価審査委員会条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決		
6	参画と協働のまちづくり審議会条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決		
7	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決		
8	個人番号の利用に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決		
9	手数料条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決		
10	都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決		
11	市道路線の認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決		
12	令和 元 年 度	一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決		
13		国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決	
14		後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決	
15		介護保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決	
16		蓮田都市 計画事業	野牛・高岩土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
17			白岡駅東部中央土地区画整理事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
18		一般会計予算	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決	
19	国民健康保険特別会計予算	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決		
20	後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決		
21	介護保険特別会計予算	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決		
22	蓮田都市 計画事業	野牛・高岩土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決	
23		白岡駅東部中央土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決	
24	水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決		
25	公共下水道事業会計予算	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決		
26	農業集落排水事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決		

※ 18番 井上日出巳議員は議長のため、採決には加わっていません。

Q&A

一般質問

市政のそこが聞きたい!

3月定例会議会の一般質問は、17名の議員が40項目について行いました。

◆中川幸廣 議員

- 水道事業と下水道事業・農業集落排水事業の今後について
- 多胎児育児の支援事業について
- 白岡高等学校を「中高一貫校」として実現させる活動をしては

◆藤井栄一郎 議員

- 公共交通の充実について
- 農業振興について

◆中村匡志 議員

- 小中学校の社会科、音楽科及び特別活動における教育について
- 自動運転技術の活用等によるバス運行やサポカー等の助成について
- 市政アプリの開発について
- ビッグデータの活用と保護について

◆大島 勉 議員

- 選挙啓発について
- 東京2020パラリンピック聖火リレーについて

◆松本栄一 議員

- 今後の成人式の開催について
- 当市の住みよさランキングと住み続けたい意識調査について

◆野々口眞由美 議員

- 請願について
- 新型コロナウイルス肺炎の市民への対応について

◆細井 公 議員

- 観光資源の更なる価値向上について
- 認可保育所の入所の可否発表方法等について

◆渡辺聡一郎 議員

- 駅周辺、まちなかのデザインについて
- こもれびの森の運営について

◆江原浩之 議員

- こもれびの森まつりについて
- 三ヶ村落堀の浚渫について

◆山崎巨裕 議員

- 公文書管理について
- 不登校児童生徒について

◆遠藤 誠 議員

- 白岡中学校周辺の開発について
- 大山地区、特に血沼について
- 委員会等の傍聴について

◆斎藤信治 議員

- 子どもの貧困対策のその後
- RE100を目指すべきでは
- 白岡市スポーツ推進計画を

◆中山廣子 議員

- 子どものLGBT(性の多様性)について
- ペット防災について

◆石原富子 議員

- 市の防災対策について
- フードドライブの取組について

◆加藤一生 議員

- 市の歳入・歳出の状況と市長の今後の市政に対する意志について
- コミュニティFMの市への誘致について

◆菱沼あゆ美 議員

- 防災への備えと取組について
- 在宅医療・介護について
- AEDの設置と利用促進について

◆関口昌男 議員

- マイナンバーの現状と問題点について
- 自転車利用の普及について

※1人につき2項目までを要約して掲載しています。

※提出された原稿を尊重し、表現は統一されていません。

問

白岡高等学校を
中高一貫校とする活動を

少子化が年々顕著に進み、高校の統廃合が今後検討されるようになる。白岡市唯一の県立白岡高校。今後の少子化を考え中高一貫校に実現する為、白岡市と市民が一緒になり活動すべきと考える。白岡市としてどの様にお考えか伺う。

答

市内中学校と白岡高校の
連携を深める

県立の中高一貫校は、平成15年以降新設されておらず、県議会でも新設には慎重に対応する旨の答弁がなされており、新設はむずかしい状況である。教育委員会では、市内各中学校と白岡高校との連携を深め、同校の教育活動への協力と支援を一層推進していく。



中川幸廣 議員
(白新会)

問

多胎児育児の
支援事業について

双子とか三つ子の多胎児育児。単胎児の一人の子育てでも大変で、「孤育て」になり易いのに多胎児となると想像以上と思われる。

2年度の育児支援事業の中にこの多胎児育児支援事業がどのように計画されているか伺う。

答

妊娠期から継続的に
支援していく

多胎児出産は、産後の育児を含め母親の身体的・精神的な負担が大きいことから、今後も孤育てとならないよう特に妊娠期から継続的に支援するよう努めていく。また、2年度は多胎児の親子を対象とした育児講座を実施する予定である。





藤井栄一郎 議員
(清明会)

問 公共交通(のりあい交通)の充実は！

のりあい交通の現状と課題は何か？利用登録者が4,912人と聞かすが、利用登録者の増加目標はどれくらいか。「バスまちスポット」の登録増加、運行便数の増加や運行車両をワンボックスカーにして、のりあい交通を更に充実させるべきと思うが考えを伺う。

答 効果的な運行内容を検討する

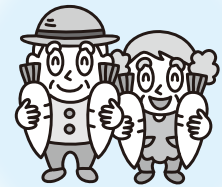
目標値は、1日当たりの乗車人数を設定している。今後は、登録者の増加を図る啓発を実施してまいりたい。令和3年度の契約更新時期に合わせ、利用状況や運行実績を分析し、事業の継続性が担保され、コストの抑制が期待できる効果的な運行内容を検討する。

問 農業の振興には耕作放棄地解消を！

魅力ある農業の振興には、農村環境の整備が必要である。当市の耕作放棄地の現状と課題は何か？耕作放棄地の解消に「白岡市の空き地の環境保全に関する条例」、多面的機能支払交付金事業や白岡版農業公社の設立で耕作放棄地の解消を図るべきと思うが考えは。

答 解消に向け対応してまいりたい

耕作放棄地は増加傾向であり、費用面からの離農・農地集積困難地域での担い手不足が課題となっている。耕作放棄地の解消に向け所有者の皆様へ農地の適正管理についてお願いするとともに、条例や各種事業の活用、JA出資型法人との連携を行っていきたい。



中村匡志 議員
(創政会)

問 ハードディスクの廃棄に問題はないか

神奈川県庁の廃棄したハードディスク18台が業者で横領され、オークションサイトを通じ転売される事件が昨年末に発覚した。被害に遭った情報機器は合計7844件にのぼり、個人情報保護の観点から深刻な懸念を惹き起こしている。当市の廃棄体制に問題はないか。

答 電子媒体の廃棄処理は適切に行っている

該当業者に廃棄依頼した当市の電子媒体は58件で、すべてデータ消去を書類で確認した。今後の廃棄は物理的な破壊やデータ消去ソフト等で廃棄処理し、原則、職員が立合うことや廃棄証明書及び廃棄確認の写真を提出させることで適切な廃棄処理を行っていく。

問 自動運転バスの検討状況は

茨城県境町では今年4月から自動運転バスが実用化され、県内でも着実に実証実験が進んでいる。菁莪地区を中心にバスの巡回を求める声が根強いが、当市の検討状況を伺う。また、高齢者も安全に運転できるサポカー・サポカーSの購入に補助金を出してはどうか。

答 国の技術開発等の動向を注視していく

現時点では、自動運転技術の活用に関する検討は行っていないが、国などの動向を注視して将来的な自動運転技術の活用に備える。サポカー等の補助金は、国の補助制度が創設されたことから、その周知を図り、より多くの市民に活用していただけるよう努める。



境町の自動運転バス(イメージ)

問 東京2020パラリンピック
に向けて

昨年11月、東京2020パラリンピック聖火ランナーのルートが発表された。当市がそのルートに入っており、予算にも推進事業として取り入れられているが、本番までのスケジュールはどうなっているのか、また、市を盛り上げるこの絶好の機会をどう生かすのか。

答 警備やイベントなどの
準備を進めていく

大会組織委員会からは、当日のスケジュール、コースの詳細の発表はまだないが、交差点や沿道の警備、ゴールでのイベントなどの準備を進めている。また、白岡まつりでのイベントブースの開設やパブリックビューイングの開催などを予定している。



大島 勉 議員
(創政会)

問 今後の選挙のために



昨年は選挙の多い年であったが、その投票率は低く、18歳に引き下げられた選挙権もあまり効果が出ていない。当市の啓発活動はどうなっているのか、また、これからの有権者育成・投票率向上に本腰を入れるべきと考えるが市の考えは。

答 政治への関心を高める
取組を検討する

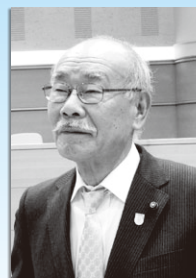
選挙時の啓発事業、小中高等学校、新成人に向けた啓発事業を常時行っている。投票率向上には、主権者教育が重要なことから、主権者教育を実施する小中高等学校の支援に努め、議員と協力、連携を図りながら政治への関心を高める取組を検討していきたい。

問 住みよさランキングと
住民の意識調査

当市は、2014年に県内1位と評価され、上位を保っているが、外部からの評価ではなく、「住民が住み続けたい」の意識調査が必要である。市内在住者の地域別・年代別の調査・分析が重要であり、市内在勤者も同様であるが、今後どのように調査を行うのか。

答 市民意識調査を
実施する予定である

第6次総合振興計画の策定に当たり、市内在住者に対する意識調査を実施し、地域や年齢ごとの分析結果等を活用していく。また、市内在勤者への意識調査についても各種団体の協力を仰ぎながら、できる限り多くの皆様から御意見をいただけるよう努めていく。



松本栄一 議員
(創政会)

問 民法改正と今後の成人式
開催について

2022年4月の民法改正により、成年年齢が18歳に引き下げになる。昨年6月の全国調査では多数の自治体が検討中であったが、約60の自治体が成人式は20歳と回答した。当市も20歳で開催するのか。又、18歳、19歳のお祝いを検討しているか。

答 式典に出席できる年齢を
慎重に決定する

昨年10月に市内全中学校生徒会、白岡高校生徒会、PTA連絡協議会にアンケートを行った。今後アンケート結果、社会教育委員会議の意見を参考に国や県内市町の動向を踏まえ決定する。また、18歳、19歳の方にお祝いのメッセージを贈るなど考えている。



今年の成人式



野々口眞由美 議員
(TSUNAGU)

問 請願について伺う

「白岡ニュータウン葬儀場建設に関する請願書」採択について、市長の思いと進捗状況を伺う。できない事を考えるのではなく、できる事を考えることが住民に寄り添うことである。誠意ある対応を求む。さらに採択された請願全般に対する市の姿勢について伺う。

答 真摯に受け止め、事務執行に努める

地域住民の皆様のお気持ちは十分理解している。市としても事業主側に住民対応を依頼した。今後も自治会等と情報を共有し、地域住民の皆様のご要望を、事業主へ届けていく。また、採択された請願全般については、真摯に受け止め、事務執行に努めていく。

問 新型コロナウイルス肺炎の市民対応は

相談体制や専門機関との連携、保育所（園）、学校関係の対応について伺う。また、正確かつ最新の情報が届くことが不可欠である。そのために、インターネット利用不可の市民への情報発信として、災害時や他の利用もできる電話自動音声による対応の検討を求む。

答 適切に対応し必要な情報を配信していく

国や保健所等専門機関と連携協力し、必要な相談体制を確保する。保育所や学校では、手洗い、うがい等の感染症対策の実施に努めていく。必要な情報はホームページ、回覧等で市民に発信し、電話自動音声については災害時の対応と併せて今後調査研究していく。



細井 公 議員
(白新会)

問 観光資源のさらなる価値向上について

白岡市内の観光資源についてのPRを行っていると感じているが、観光客に対して不十分と考える。外来観光客が増加すれば、市のブランドイメージの向上にもつながる。価値向上策を市全体で取り組んでいただきたく、見解をうかがう。

答 白岡市観光協会と共に取り組んでいく

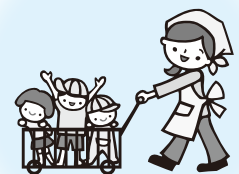
市観光協会では、観光資源の活用・研究を行い、神社仏閣の案内標識を設置するなど観光資源の価値向上を図る取り組みを行っている。市では市観光協会と共に観光資源の活用方法について検討を行い、引き続き白岡市ならではの魅力のPRに努めていく。

問 認可保育所の入所の可否発表方法等は

令和2年度の可否発表において、郵送で発表を知った方には二次募集手続きで忙しい思いをさせた。発表方法を受付番号によるインターネット上での発表とし、二次募集までそこから提出できるようにするなど、保護者の利便性を踏まえた手続き変更を行うべき。

答 保護者に寄り添った申請手続きを進める

入所可否結果通知後の、希望保育所の追加や変更などの届出受付は、発送後10日程度の期間を設けた。通知受取後、認可保育所の空き状況や、認可保育所以外の保育サービスの案内のため、インターネットより詳細な説明が可能な窓口対応を引き続き行っていく。



問 こもれびの森の
運営の検証と質向上を

昨年のももれびの森の入館者数と運営費は。利用者からはどのような意見が出ているか。さらなる教育・文化環境の充実を目指し、サービスや運営の質向上が必要と考えるが今後の取り組みは。また財政が厳しい中、施設で自主財源を確保する事が必要ではないか。

答 今後も施設のサービス
充実を図っていく

開館から1年間の入館者は延べ26万人、運営費は約8千3百万円である。利用者からの意見により、館内フロア図等を設置した。今後も有資格者を適正に配置し、更なるサービス向上を図っていく。自主財源の確保では、雑誌スポンサー制度を広く周知していく。



渡辺聡一郎 議員
(創政会)



白岡駅西口の駅前広場

問 西口駅前広場の
整備の進展を

白岡駅西口駅前広場の整備の進捗はどうなっているか。西口駅前市は市の玄関口として十分な交流空間が確保されておらず、安全性にも大きな課題がある。長年の課題となっているが目に見える進展が必要だ。着実な推進のため目標設定と進捗管理が必要ではないか。

答 西口駅前広場の
早期整備を目指していく

西口駅前広場については、地権者の皆様の御理解、御協力をいただきながら、事業用地の確保に努めていく。整備にあたっては、国庫補助の活用を調査研究のうえ、利用状況などに配慮し、工区分けを含め、工事の範囲や順序などを検討していく。

問 こもれびの森まつりは

こもれびの森まつりの実施状況は。次に、パンフレットを改良する点があるが、次回に向け周知など、どのように考えているのか。次に、こもれびの森まつりの実行委員会を設立する予定はないか。また、今後どのように展開していくのか。

答 共催団体等と連携し、
まつりを開催する

シルバー人材センター、社会福祉協議会、図書館ボランティアとの共催により実施した。パンフレットは、各団体と調整し、内容の見直し、配布方法を改善する。実行委員会設立は難しいが、共催団体と連携し、ボランティアの協力を得ながら運営する。



江原浩之 議員
(無所属)



水路の適切な維持管理を望む

問 三ヶ村落堀の浚渫を

三ヶ村落堀が、市街地の雨水排水の要となる水路である。この三ヶ村落堀の状況は。次に、気象が変化中、水路の適切な維持管理が必要である。今後も多発する自然災害に備え、三ヶ村落堀の浚渫を行う必要があるが、どのように考えているのか。

答 国の財政支援制度を
活用し進めていく

三ヶ村落堀は、整備から40年余り経過しており、土砂等の堆積や雑草等が繁茂している状況は認識している。台風19号により河川氾濫等の被害が相次いだため、浚渫における国の財政支援制度が創設される見込みである。制度を有効に活用し浚渫を進めていく。



山崎巨裕 議員
(日本共産党)

問 市の公文書管理について

国民の共有財産である公文書。その公文書管理への国民の信頼が揺らいでいる。市民の共有財産である市の公文書管理、市民の知る権利としての情報公開、個人情報の保護は適正に行われているか。また市の公文書管理について条例化を望むがいかがか。

答 適正な運用が図られている

文書管理については白岡市文書規程に基づき、市政情報の公開については白岡市情報公開条例に基づき、個人情報保護と説明責任のバランスに十分配慮したうえで、適正に運用がされている。文書管理の規律は保たれており、条例の制定は現時点では考えていない。

問 不登校児童生徒について

不登校児童生徒（全国）が急増している。昨年度は164,528人（前年度比20,497人増）。市でも不登校児童生徒は増加傾向にある。校区ごとのきめ細かい手厚い対応が求められている。また、義務教育制度のあり方も問われていると考えるがいかがか。

答 児童生徒の教育の機会確保を第一とする

不登校の見方が「問題行動」から「理解し受容するもの」に変化している。担任などによる家庭訪問やスクールカウンセラーなどの教育相談による働きかけのほか、市の関係機関と連携を進め、不登校児童生徒に支援を行い、児童生徒の教育の機会確保を図る。



遠藤 誠 議員
(清明会)

問 土地投機のリスクについて

これからのスケジュールで、やがて商業経営する事業者の参入が待たれる。この事業は地権者が土地を投機することであり、当然リスクがある。商業経営者が参入しない場合のリスクを地権者に伝えるべきと考えるがいかがか。

答 権利者に対しては丁寧に説明していく

保留地の売却や事業者の進出が見込めない場合は、当然ながら事業が成立しないものと認識している。今後は、事業計画の案や権利者が抱える個別の課題についてワークショップや個別相談会、あるいは、個別訪問を通じて丁寧に説明していきたい。

問 白岡中学校周辺の開発について

先行しているモラージュは平成20年122号バイパスの開通と合わせて開店した。参入業者にはこのインパクトがあったからと推察される。しかし、白岡中学校周辺は道路全てを自ら調達しなければならない。この点でも事業の実現はかなり困難なのではないか。

答 関係機関と協議を重ね対策を検討する

道路環境の整備については、事業区域を超え相応の区間を片側二車線化等が実現できれば望ましいが、市の財政状況等を考慮すると現実的ではない。今後は、商業用地の規模等を踏まえながら警察や道路管理者と十分協議を重ね適正な交通処理対策を検討していく。



問 電気エネルギーの100%
地産地消を

地球温暖化抑止のために、RE100【太陽光等の再生可能エネルギーにより電気エネルギー100%の地産地消】を目指しては如何か。農業を続けながら太陽光発電するソーラーシェアリングにより農業の継続と地球温暖化抑止に貢献できるのではないか。

答 自給率向上を目指し、
節電を呼びかける

市の一部施設で太陽光パネルを設置しているが、自給自足には程遠い。自給率向上を目指し、職員には一層の節電等を呼びかける。また、市としてソーラーシェアリングによる発電施設を設置することは困難だが、実施している他市町の状況等を注視していきたい。



齋藤信治 議員
(TSUNAGU)



市民体育祭 開会式

問 スポーツ推進計画を
策定しないか

市のスポーツ施策の方向性を定めるスポーツ推進計画を定めるべきではないか。スポーツをする市民の増加、体育授業しかない子どもへのスポーツ推進、地域の賑わい・コミュニティの創設、アダプテッドスポーツ*の推進等を、特に考慮することが必要である。

*障がい者も楽しめるように工夫されたスポーツ

答 スポーツ推進計画の
作成に取り組む

令和2年度からスポーツ推進計画の作成に取り組む。スポーツ施設は、地域の賑わい・コミュニティの創設につながることを考慮して維持管理していく。また、障がい者スポーツをはじめ、市民の皆さまが身近にスポーツに親しめる環境づくりの推進を図っていく。

問 子どものLGBT
(性の多様性)に理解を

誰もが通う「学校」で早い時期から人間の性を含む多様性について勉強したり、肯定的な話を聞くことで、すべての子どもたちの人権感覚を育てることができる。学校の環境整備が必要。性的マイノリティへの配慮として、制服にスラックスを導入しては。

答 よりよい制服について
研究を進める

制服へのスラックスの導入は、気候に合わせた衣服調整や動きやすさなど、性的少数者だけではなくすべての生徒にメリットがあるものとする。費用やデザインの検討など課題があるため、さまざまな意見を踏まえながら今後研究していく。



中山廣子 議員
(公明党)

問 ペット防災の検討を

災害が起こり、避難が必要な時は、ペットと同行避難をするのが原則。そのために平常時より、飼い主としての心構えや、準備、しつけを行う。行政はペットの受け入れが可能な避難所の選定、整備を行う必要がある。市の総合防災訓練のメニューに入れては。

答 ペットとの同行避難に
ついて検討する

ペットとの同行避難について、受入体制を施設管理者と意見交換を行う。

また、総合防災訓練や自主防災組織の避難訓練、各指定避難所単位での避難所開設訓練などでの実施に向け検討していく。





石原富子 議員
(TSUNAGU)

問 フードドライブの
取り組みを！

「もったいないからありがとうへ」という考え方で、家庭に眠っている、まだ食べられる食品を持ち寄り、必要とする団体や個人に届ける取り組み。増え続ける食品ロスの削減と、生活困窮の方への支援の両面で有効なフードドライブを定着させてはどうか。

答 実施に向け、
調査・研究していく

食品ロス削減について、市民に対し、広報紙や市公式ホームページで周知・啓発していく。
また、フードドライブ等の実施について、先進自治体の取組を調査・研究し、市民に対しても周知していく。

問 市の防災対策は万全か

首都直下型地震の危険性が高い。大地震が起きた際には、市内の避難所には何人避難可能か。現在、毛布など市としての備えは何がどれくらいあるか。支援物資の受け入れ方法や、ボランティアの受け入れ等、これまでよりもより幅広い想定と準備が必要だがどうか。

答 災害時の備えを
強化していく

避難可能人員の総数は、合計11,706人である。食糧及び生活必需品の備蓄については想定避難者に対し1.5日分以上の備蓄を目標数量としている。大規模災害発生時に備え、支援物資輸送の訓練の実施や災害ボランティアの受け入れ体制についても準備する。



加藤一生 議員
(清明会)

問 市の歳入・歳出状況と
市政の意志は

①ここ数年の予算における歳入・歳出の状況はどうなっているか。
②その状況をどう考えているか。
③今回の予算編成にあたり、対外的に伝えておくことは、あるか。
④この状況下、市長は今後の市政をいかなる意志を持って遂行・運営していくのか。

答 市の将来を見据えた
予算編成に努める

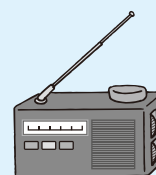
ここ数年は、140億～150億円を推移しているが、扶助費などの義務的経費や物件費などの経常経費の増大により、財政構造の硬直化が課題となっている。限られた財源の中、財政健全化を考えながら、市の将来を見据えた効率的かつ適正な予算編成に努める。

問 改めてコミュニティー
FMの誘致検討を

元年9月、12月の定例議会から、継続して質問してきた事案であるが、「防災の観点」からばかりでなく、日々様々な情報を市民に伝える必要が生じてきている現在、改めて全市的視点に立って、「コミュニティーFM誘致」を検討すべきと考えるのがいかがか。

答 多様な情報媒体を
活用して情報発信する

開局のための放送機材の整備や人件費等を含めた年間経費を考慮すると、財政面においても課題があり、市が開局・運営に携わることは、現状では難しいと考える。市では、引き続き、市公式ホームページなど多様な情報媒体を活用しながら情報発信に努めていく。



問 誰でも使えるAEDを

救命機器であるAEDを設置している事業者などに協力を募り、いざというときに誰でも使えるようにする取組の推進状況は。また、AED普及推進計画の優先的設置場所にあたる、郵便局・JR駅管轄外・南彩農協の状況は。提案した交番は、どうなったか。

答 今後もAEDの普及啓発を図っていく

市内には36台のAEDが民間で設置されている。今後も埼玉県AEDマップへの登録や緊急時の使用について事業所へ意向確認していく。優先的設置場所については、南彩農協2か所に設置された。今後も交番等有効な場所への設置を再検討していく。



菱沼あゆ美 議員
(公明党)



土のうステーション

問 さらなる防災への備えを

災害時での廃棄物処理や復興を早めるには、分別が重要。市民に平時から周知すべきである。

水害の備えとして、リスクの高い地域に、土のうステーションを設置すべきではないか。また、地域や防災訓練などにおいて、防災士の活用を推進できないか。

答 災害に強いまちづくりを目指す

土のうステーションの設置は、公園や消防分団機械器具置場などの公共施設を設置場所として検討している。地域の防災力向上と減災のために、地域の自治会や自主防災組織などに対して、助言や協力を行う防災士を増やし、活用していくことを調査・研究する。

問 職員のマイナンバーカード取得は任意か

マイナンバーカードは導入以来5年が経つが取得者が15%と低迷している。これはプライバシー侵害や情報もれなどの事件発生の恐れに国民が拒否感をもっているからだ。国は公務員などに取得促進を働きかけているが、あくまでも取得は任意であるはずだ。

答 マイナンバーカードの取得は任意である

デジタル・ガバメント閣僚会議決定を踏まえた地方公務員等のマイナンバーカードの一斉取得の推進について、国から通知があったところである。マイナンバーカードの取得は、職員の任意であり、取得しない職員に不利益が及ぶことはない。



関口昌男 議員
(日本共産党)



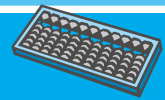
観光協会のレンタサイクル

問 市の自転車利用の普及を

地球環境問題を解決する上で自転車の利用は効果的であり、県や先進自治体ではこの取組みが進んでいる。市でも観光協会がレンタサイクルを実施しているが、これらを充実させ、駅と市役所周辺施設を結び、レンタサイクルの実施を検討してはいかがか。

答 自転車普及について調査・研究していく

市観光協会とともに県が設定したサイクリングコースや市内を周遊できるコースなどをPRし利用促進に努めていく。白岡駅と市役所周辺施設を結ぶレンタサイクルは、利用者の需要を見極めながら、先進自治体の取組などを参考にし調査・研究をしていく。

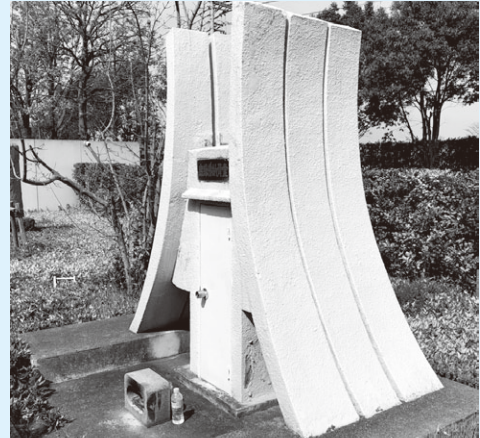


埼葛斎場組合予算

埼葛斎場組合は、春日部市、蓮田市、杉戸町および当市で構成されています。2年度の予算総額は、4億2370万4千円で、前年度比10.5%の増です。

歳入の主なものは、負担金で全体の49.5%を占めています。当市は2698万9千円です。負担金全体に占める割合は、12.9%です。

歳出の主なものは、総務費、事業費、公債費です。



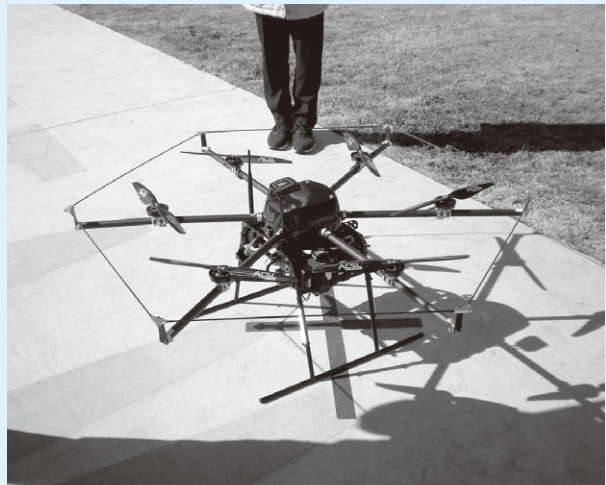
敷地内にある納骨堂

埼玉東部消防組合予算

埼玉東部消防組合は、加須市、久喜市、幸手市、宮代町、杉戸町および当市で構成されています。2年度の予算総額は、66億4400万円で、前年度比5.7%の増です。

歳入の主なものは、負担金で全体の94.1%を占めています。当市は6億6144万2千円です。負担金全体に占める割合は10%です。

歳出の主なものは、消防費です。



消防組合が所有するドローン

蓮田白岡衛生組合予算

2年度の予算総額は、17億7122万2千円で、対前年度比0.1%の増です。

歳入の主なものは、両市が負担する分担金および負担金で全体の67%を占め、当市の負担は5億5549万5千円(蓮田市は6億3117万5千円)で、使用料および手数料が28.7%です。

歳出の主なものは、衛生費(ごみ・し尿の処理にかかる経費)で全体の67.1%を占め、総務費(事務的経費)が22.7%です。





委員会活動報告 先進地などへの視察調査

文教厚生常任委員会

教育支援センターの運営について

1月21日 さいたま市あいぱれっと教育相談室

さいたま市が運営する、さいたま市子ども家庭総合センター「あいぱれっと」を視察しました。

同施設は、2年前に中学校跡地を利用して建設され、子どもと家庭を取り巻く課題に総合的に取り組み、子どもと家庭、地域の子育てについて、5つの機能を掲げ、6つの専門相談機関を備えて総合的に支援を行っている複合施設です。5つの機能とは、①総合相談機能、②企画・研究機能、③「地域の子育て」支援機能、④世代間交流・活動拠点機能、⑤専門相談機能です。

大規模な自治体力、行政的権益、そして予算規模を持つ「さいたま市」だからこそ実現されたもので、とても感嘆しました。

当市においても、限られた予算の中ではありますが、子どもにとって良い環境・教育相談を提供し、子どもたちが、学校生活を楽しめるようになることを希望します。



施設見学後の勉強会

議会日誌

2月

- 14日 議会運営委員会
議会改革・活性化等検討協議会
- 20日 本会議（開会・議案説明）
- 25日 本会議（一般質問）
- 26日 本会議（一般質問）
- 27日 本会議（一般質問）

3月

- 2日 本会議（議案質疑）

- 4日 議会広報常任委員会
- 5日 文教厚生常任委員会
- 6日 産業建設常任委員会
- 9日 総務常任委員会
- 9日 文教厚生常任委員会
- 10日 産業建設常任委員会
- 11日 総務常任委員会
- 13日 埼玉東部消防組合議会の定例会
- 17日 議会運営委員会
- 19日 本会議（議案採決・閉会）
- 19日 議会改革・活性化等検討協議会

- 25日 議会広報常任委員会
- 26日 埼玉東部消防組合議会の定例会
- 27日 蓮田白岡衛生組合議会の定例会

4月

- 3日 議会広報常任委員会
- 9日 新型コロナウイルス
議会対応会議
- 14日 4区議長会の定期総会
- 17日 県議長会の定期総会
- 23日 関東議長会の定期総会

3月定例議会傍聴者数

本会議	市内 77名	市外 3名	合計80名
委員会	市内 8名	市外 0名	合計 8名

編集後記

世界的に感染が広がっている新型コロナウイルス。この感染症でお亡くなりになられた方々にお悔やみを申し上げます。また罹患され治療中の方々にお見舞いを申し上げます。本市でも、小中学校等の休校、公共施設の休館、イベントの中止等、感染拡大を防ぐ対策を講じて来ました。このような時こそ、皆で助け合い、思いやりの心で前向きに乗り越えたいものです。この議会だよりがお手元に届く頃には、収束していることを切に願います。（中山）



議場コンサートは中止です。

5月23日（土）開催予定の議場コンサートは、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点等から中止となりました。



体調管理のうえ
議会・委員会傍聴へ
いらしてください
(議場は市役所4階です)



次回の議会は
6月4日（木）開会予定です。

※状況により予定が変更となる場合があります。

議会広報常任委員会

委員長	斎藤 信治	委員	山崎 巨裕
副委員長	加藤 一生	委員	中山 廣子
委員	中村 匡志	委員	中川 幸廣
委員	野々口眞由美		